

新嵐山スカイパーク運営事業調査 中間報告書



「分かりやすい議会、開かれた議会、行動する議会」を目指して

北海道芽室町議会

<http://www.memuro.net/gikai/gikai.htm>

e-mail g-shomu@memuro.net

tel 0155-62-9731 fax 0155-62-9813

1 はじめに

(1) 総務経済常任委員会における調査

令和元年	9月	5日	新嵐山サウンディング調査について
令和2年	1月	24日	新嵐山スカイパーク活用計画案について
令和2年	5月	1日	新嵐山スカイパーク活用計画の進捗状況
令和2年	5月	14日	新嵐山スカイパーク活用計画の進捗状況
令和2年	6月	11日	令和元年度めむろ新嵐山(株)の経営状況について
令和2年	7月	9日	新嵐山スカイパーク活用計画の進捗状況
令和2年	7月	15日	新嵐山スカイパーク活用計画について
令和2年	7月	22日	新嵐山スカイパーク活用計画について
令和2年	8月	7日	新嵐山スカイパーク活用計画について
令和2年	8月	20日	新嵐山スカイパークに関する条例改正等について
令和2年	9月	7日	新嵐山スカイパーク活用計画に係る提言書手交

新嵐山スカイパーク活用計画に係る提言書

町は新嵐山スカイパークのあり方について多くの提言や町民の意見をいただき、平成29年度からは本格的に庁内での議論に取り組み、第5期芽室町総合計画において「新嵐山スカイパークの基本方針」が示され、令和2年3月に新嵐山スカイパーク活用計画(以下、「活用計画」という。)を策定するに至った。

新嵐山スカイパークの今後の方向性が明確になったことは評価するところであり、委員会としても「この町にしかない地域価値が体験できる」場所の実現を願うものである。総務経済常任委員会では、所管事務調査や政策討論会、現地調査を実施し活用計画について議論を深めるなかで、活用計画に関し留意すべき点などで一致したことから、以下のとおり提言するものである。

記

1 町民のための再整備計画であること

新嵐山スカイパークは町民の財産である。「町民にとっても自慢できる、誇ることのできる新嵐山スカイパーク」を目指すためには、施設整備だけではなく地元食材を活用した食の提供とおもてなしなどソフト面も充実させ町民の満足度を高めること。

2 町が投資する事業費概算を示すこと

今後公共で投資する施設改修や新たな施設等設置のために必要な事業費を明らかにすること。

3 施設整備の時期や投資規模の再検討を行うこと

新型コロナウイルス感染症拡大により観光業はかつてない大打撃を受けており、インバウンド需要の消失、国内旅行需要も回復の見通しがつかない状況にある。リノベーション・プランのロードマップに示される施設整備は、「町民の憩いの場」としての機能を優先させることを念頭に、整備年次や事業規模を検討すること。

4 町民や利用者への情報提供、意見聴取を行うこと

活用計画の推進は、町民や利用者の理解と協力なくして成し遂げられない。十分な情報提供や意見聴取を今後も行い、取り組みの参考にすること。

5 現状では利用不能な施設等のあり方を検討すること

魅力的な施設とするため、台風災害によって甚大な被害を受けたキャンプ場跡地等の活用や、整理についての方針を検討すること。

- 令和2年 9月30日 めむろスキースクールとの意見交換会
(めむろスキースクールの活動状況について)
- 令和2年11月18日 芽室町国民宿舎等指定管理のあり方について
- 令和3年 1月18日 新嵐山活用計画の改訂について
- 令和3年 6月 8日 令和2年度めむろ新嵐山(株)の経営状況について
- 令和3年 9月16日 新嵐山スカイパークテナントとの意見交換会
(新嵐山スカイパークの現状について)
- 令和3年10月 6日 めむろ新嵐山(株)との意見交換会
(新嵐山スカイパークの現状について)
- 令和3年10月12日～新嵐山スカイパークに関するアンケート調査実施
10月31日
- 令和3年11月17日 新嵐山スカイパークについて
- 令和4年 1月20日 新嵐山スカイパークについて
- 令和4年 2月21日 めむろスキースクールとの意見交換会
(めむろスキースクールの活動状況について)
- 令和4年 6月13日 令和3年度めむろ新嵐山(株)の経営状況について
- 令和4年 8月 9日 新嵐山スカイパークについて
- 令和4年10月11日 新嵐山スカイパークについて
- 令和4年10月13日～新嵐山スカイパークに関するアンケート調査実施
10月31日
- 令和4年11月22日 芽室町老人クラブ連合会との意見交換会
(子どもからお年寄まですべての世代に愛される新嵐山スカイパーク)
- 令和5年 2月 1日 新嵐山スカイパーク運営支援事業(指定管理業務委託料)

について

令和5年 6月 9日 令和4年度めむろ新嵐山（株）の経営状況について

(2) 一般質問

令和2年 6月18日 新嵐山スカイパーク再整備の課題と今後の取り組みについて

(質問者：正村紀美子議員)

令和2年12月15日 観光振興と新嵐山スカイパークの活用計画について

(質問者：鈴木健充議員)

令和2年12月16日 新嵐山スカイパーク活用計画はどのような点に変更されたのか

(質問者：正村紀美子議員)

令和3年12月16日 新嵐山スカイパーク活用計画について

(質問者：鈴木健充議員)

新嵐山スカイパーク活用計画の進捗状況及び今後の展開について

(質問者：梶澤幸治議員)

令和4年 9月14日 新嵐山改革の見直しと今後の見通しについて

(質問者：正村紀美子議員)

2 主な議会活動の経過(R5～)

<主に下記事項について簡潔な説明と関係資料を掲載する>

- ・議員研修（専門研修）開催

令和5年6月21日「公民連携で進める公共施設マネジメント」

（講師：東洋大学 南学教授）

令和5年7月5日「第3セクターによる指定管理事業における展望と課題」

（講師：北海道大学公共政策大学院教授 宇野二郎氏）

- ・特別委員会設置

令和5年7月28日 本会議において特別委員会設置、第1回特別委員会（正副委員長選出）

令和5年8月2日 第2回特別委員会（新嵐山スカイパークの今後について）

令和5年8月21日 第3回特別委員会（新嵐山スカイパークの今後について）

令和5年9月5日 第4回特別委員会（新嵐山スカイパークの今後について）

- ・補正予算否決

令和5年9月21日開催の第8回予算決算特別委員会において否決すべきものと決定、その後本会議において否決

- ・提言書手交

令和5年9月29日開催の第5回特別委員会において、「新たな新嵐山スカイパークのあり方」に係る提言書を作成し、10月2日に町長へ手交

「新たな新嵐山スカイパークのあり方」に係る提言書

町は、本年7月12日に、「新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）」などの影響により、新嵐山スカイパークの指定管理事業者である「めむろ新嵐山株式会社（以下「会社」という。）」が債務超過となり、資金繰りがひっ迫し危機的状況である実態を「現状」、「対応案」、「新たな在り方について」にまとめて、議会に提示した。

議会ではこの事態の緊急性と重要性を鑑み、7月臨時会議（7月28日）において、全会一致で特別委員会の設置を議決した。その後、1か月半という短い期間の中で、4回の委員会を精力的に開催し、4つの視点<①現行経営方針（財産の定義、事業の目的、成果と課題）、②経営方針を変更する背景と理由（不可抗力と過失の区分含む）、③町の資金支援計画（支援時期及び支援金額）、④経営方針変更の手順とスケジュール>で調査を重ねた。

これらを踏まえ、9月定例会議（9月21日）では、町から会社に対し5,200万円を追加支援する補正予算が提案されたが、議会は賛成少数（賛成4・反対11）で否決した。採決前に賛否それぞれの討論はあったが、コロナの影響を加味したとしても、健全とはいええない会社経営への警鐘は共通した強い指摘であり、かつ、今年度末（令和6年3月）まで会社に経営を委ねた際の収支計画も信憑性が乏しく、施設利用者等への影響は回避できない苦渋の思いはありつつも、町財政の支出を見極めるべき決断に至った。

第5回特別委員会（9月29日）において、議会の総意は新嵐山スカイパークを廃止することが目的ではなく、町が提示した「新嵐山スカイパークの今後について～新たなあり方について（令和5年7月12日）」の各事項については、継続して検討し取り進め、「貴重な財産を守り健全に継承するとともに、新たな新嵐山スカイパークを創出すること」として全会一致となったことから、以下のとおり提言するものである。

記

- 1 検討にあたっては、町民の声を幅広く聴き、「新嵐山スカイパーク自分ごと化会議」からの提言等を尊重し、反映させること。
- 2 検討にあたっては、持続可能な運営を目指し、町全体の財政に支障を来さぬよう、芽室町中期財政計画等との整合性を十分に精査した予算編成及び経費執行を前提とすること。

・議会報告会開催

令和5年10月14日、15日に議会報告会を開催し、延べ約170名が参加

・議会モニター会議

令和5年11月29日に第2回モニター会議を開催し、「新たな新嵐山スカイパークについて」を議論テーマにグループワークを行った。

・先進地事務調査

令和6年2月 7日 新得町視察（自治体所有のスキー場運営について）

令和6年2月 8日 幕別町視察（自治体所有のスキー場運営について）

令和6年2月19日 留萌市視察（株式会社モンベルによる公共施設管理運営の実態調査）

令和6年2月20日 東川町視察（株式会社モンベルによる公共施設管理運営の実態調査）

令和6年2月21日 高知県本山町視察（株式会社モンベルによる公共施設管理運営の実態調査）

・議員研修～補正予算否決の検証

令和6年5月10日 「地方議会制度～議会の使命・議員の責務」(新嵐山スカイパークに係る補正予算否決問題を考える)

(講師：芽室町議会サポーター 中尾修氏)

・議会モニター会議

令和6年6月28日に第2回モニター会議を開催し、「新嵐山スカイパークの新たなあり方について」を議論テーマにSOUNDカードを用いたグループワークを行った。

・先進地事務調査

令和7年1月28日 南幌町視察 (子ども室内遊戯施設「はれっば」について)



調査をする委員会 (新得町)



調査をする委員会（幕別町）



調査をする委員会（東川町）



調査をする委員会（高知県本山町）



調査をする委員会（南幌町）

3 今後の調査の視点

(1) 特別委員会のミッション（5事項）達成の見通し時期

町は令和7年度中（～令和8年3月）に「基本構想・基本計画」を策定し、併せて事業経費（概算工事費）が明らかになることから、この調査をもって特別委員会の使命を完了。

(2) 調査の視点

- ・ 基本理念（事業目的／事業根拠等）について
- ・ 経営形態（直営／民営化等）について
- ・ 事業手法（宿舍・スキー場・レストラン等機能別事業手法）について
- ・ 事業経費（総事業費／町単独経費／単年度事業費等）
- ・ 費用対効果（対象／対象外）について